

## 2. 体制づくり

### (1) いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会

東播磨地域ビジョン推進プログラムに“重点推進事業”として掲げられ、また兵庫県ため池整備構想、市町ため池保全整備構想が示すため池や水路を主役とした新しい地域づくりを目指す「いなみ野ため池ミュージアム」創設プロジェクトを推進するため、2002年、明石市、加古川市、高砂市、稻美町、播磨町、東播磨県民局、北播磨県民局三木土地改良事務所からなる「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会」（会長：加古川市地域振興部長）が設置されました。本プロジェクト推進の指針として「推進基本計画」の立案業務や普及啓発活動への取り組みが始まりました。このプロジェクトの推進にあたっては地域主導、県民主役の理念が基本であり、県民、団体、事業者、行政など地域を構成する幅広い主体の参画と協働のもとそれぞれの取り組みが進められてきました。

#### a) 組織

いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会の構成

区分	所属	職名	備考
委員	明石市	市民経済部長	
	加古川市	地域振興部長	委員長
	高砂市	生活経済部長	
	稻美町	産業生活部長	
	播磨町	生活部長	
	兵庫県東播磨県民局	企画調整部地域課題担当参事	
	兵庫県三木土地改良事務所	所長	
事務局	兵庫県東播磨県民局	企画調整部地域課題担当課長	
	兵庫県三木土地改良事務所	主幹兼農村計画課長	

## b) 目的

実行委員会の目的は、「いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会」規約に記されています。

### いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会規約（2002年施行）

#### 第2条

実行委員会は、『地域の構成員すべての参画と協働のもと、東播磨地域のかけがえのない財産であるため池群とそれらを結ぶ水路網をより素晴らしい形で後世に引き継いでいくとともに、それを核に地域全体を“まるごと博物館”と見なして魅力いっぱいのふるさとづくりを進める、いなみ野ため池ミュージアム（以下「ミュージアム」という）』を創設していくことを目的とする。

## c) 活動

実行委員会の業務として、以下の5項目が設定されました。

- ① ミュージアム創設に係る広域的・総合的な推進体制づくり
- ② ミュージアム実現に向けた取り組みの裾野の拡大と質的な向上
- ③ 多様な主体の参画による水辺をいかした地域づくりの支援
- ④ ため池等や地域全体の魅力・イメージアップ

2002年度以降、直面する課題を整理するほか、次の段階に向けて、プロジェクトの推進を支えてきました。

「いなみ野ため池ミュージアム」の運営の核となる運営組織の設立、またそれが本格稼働をする時期を2007年度に設定し推進することとされました。

### (2) いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会

「いなみ野ため池ミュージアム」を推進する指針を策定検討するため、2002年、『いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会』（委員長：中瀬勲・県立人と自然の博物館副館長）が設置されました。

a) 組織

いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会の構成

領域	氏名	職名（当時）
地域・情報活字メディア	浅野重幸	神戸新聞社論説副委員長
水辺環境	浅見佳世	株式会社里と水辺研究所取締役
田園空間整備事業	石川洋太郎	兵庫県土地改良事業団体連合会
農業土木	内田一徳	神戸大学教授
エコミュージアム	大山由美子	株式会社丹青研究所企画研究部部長
ライフスタイル	角野幸博	武庫川女子大学教授
ため池管理	澤陽三	稻美町土地改良事業連絡協議会会長
地域文化	玉岡かおる	作家/加古川を考える懇親会委員
景観形成	中瀬勲	県立人と自然の博物館副館長
地域開発	根本敏行	兵庫大学教授
地域情報・電波メディア	村上和子	サンテレビジョン CM 管理部

b) 検討内容

委員会での検討内容は次のとおりです。

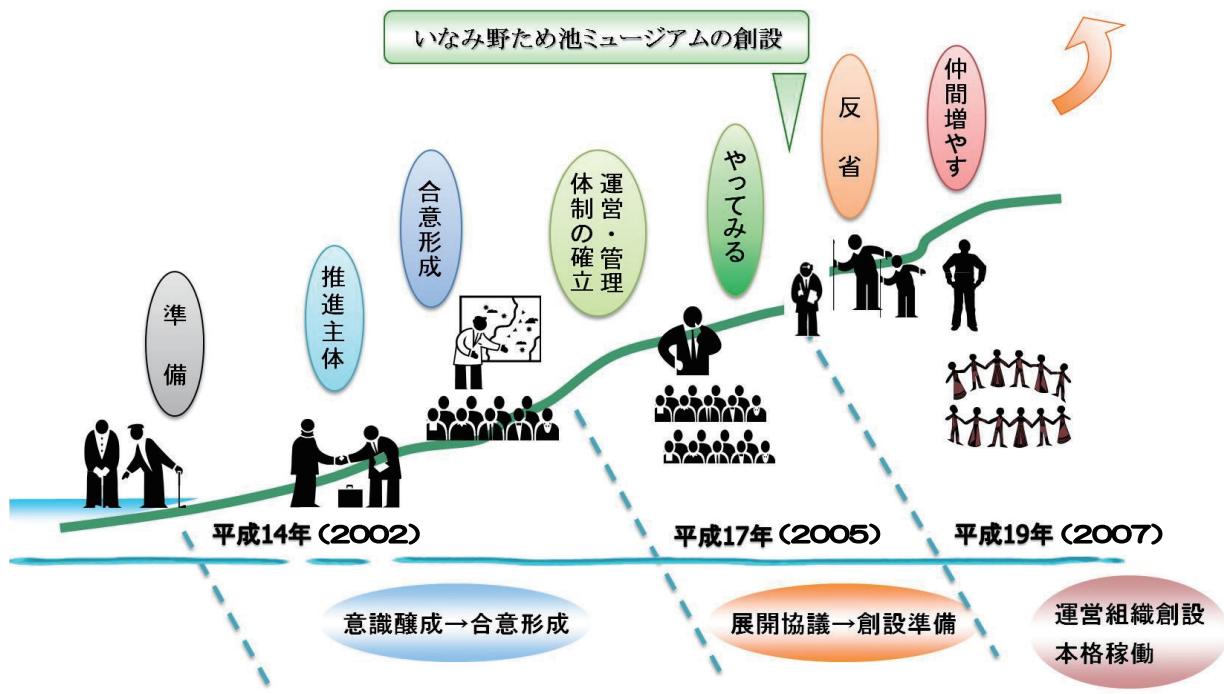
- ① 基本方針：名称、対象区域、目的、展開方針
- ② 施設展開：ミュージアム展開のシナリオ
- ③ 活動方法：普及啓発、地域資源の発掘・調査研究
- ④ 管理・運営組織：管理者と住民活動の役割分担、財政計画など

c) 検討結果

これらの検討内容が精査され、「いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクト推進基本計画(案)」がまとめられました。

- ① 「いなみ野ため池ミュージアム」創設プロジェクトの推進行程  
2002年、「いなみ野ため池ミュージアム基本計画検討委員会」での議論を経て、推進行程やそのための体制づくり、人づくり、ため池や水路の魅力づくりを柱に展開することが提案されました。

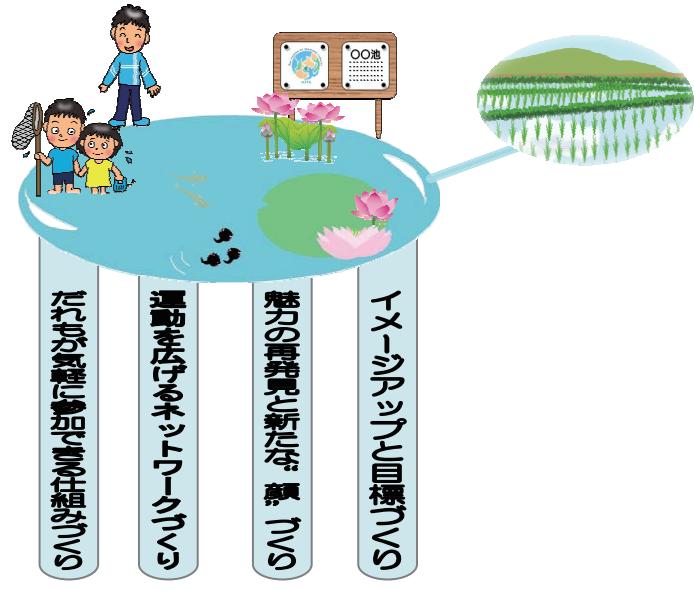
## スパイラルアップ



### ② 「いなみ野ため池ミュージアム」推進の柱

このプロジェクトの推進にあたっては、ため池管理者や地域住民、NPO や市民団体、また地域内外の人々、行政が協働して取り組みが求められます。同時に、学習、文化、環境、景観、まちづくり、農業、産業、観光、インフラ整備など、分野を問わず取り組む必要があります。

これらを実現する 4 つの柱として、①だれもが気軽に参加できる仕組みづくり、②運動を広げるネットワークづくり、③魅力の再発見と新たな“顔”づくり、④イメージアップが目標として示されました。



2002 年度の活動の重点は、いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの「立ち上げ」と「普及啓発」がありました。2003 年度から、①個々のため池等の維持・管理体制（のちの「ため池協議会」）充実・強化、②市町単位の推進の仕組みづくり、③ミュージアム運営組織の人材発掘・養成に焦点を当て、<参画と協働>の理念のもと、その創設から運営に至る各ステージにおいて、県民・団体・事業者などが主体的に取り組めるよう、段階ごとの活動推進の仕組みづくりとして『「いなみ野ため池ミュージアム」推進プログラム』がまとめられました。

## 『「いなみ野ため池ミュージアム」推進プログラム』(概要)

具体的なプログラムとして、①企画開発・人材発掘、②活動支援、③魅力・イメージアップが設定されています。

### 【プログラムの趣旨】

#### ① 企画開発・人材発掘

いなみ野ため池ミュージアムでは、地域の人々が中心となった活動展開が求められる。そのため、取り組みの裾野の拡大と質的な向上を促進する企画を進める。また同時に、将来にわたって地域主導のもとで保全・育成していくため、ミュージアムに関連する各分野での専門的人材の発掘・育成に努める。



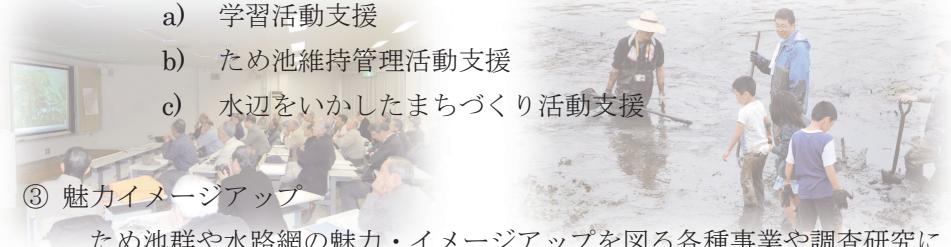
#### ② 活動支援

水辺をいかした学習活動やまちづくり活動、ため池の維持管理など、多様な主体のさまざまな取り組みを支援する。

- a) 学習活動支援
- b) ため池維持管理活動支援
- c) 水辺をいかしたまちづくり活動支援

#### ③ 魅力イメージアップ

ため池群や水路網の魅力・イメージアップを図る各種事業や調査研究に取り組む。また地域あげての協働によるPR活動を積極的に展開するとともに、ITやマスメディアを活用した双方面の情報収集・発信を行う。



### (3) いなみ野ため池ミュージアム推進委員会

「いなみ野ため池ミュージアム推進基本計画（案）」を広く地域に提案し、より多様な主体の参画と協働のもと、ミュージアムの推進について、合意形成と計画の具体化を図り、地域の創意をもっての取り組みを展開する必要があります。その推進方策への指導・助言を受けるため、学識者 8 名によって構成される『いなみ野ため池ミュージアム推進委員会』（委員長：中瀬勲・県立人と自然の博物館副館長）が設置されました。

#### a) 組織

いなみ野ため池ミュージアム推進委員会の構成

領域	氏名	職名（当時）
水辺環境	浅見佳世	株式会社里と水辺研究所取締役
農業土木	内田一徳	神戸大学教授
エコミュージアム	大山由美子	株式会社丹青研究所企画研究部部長
地域・情報活字	兼田秀朗	神戸新聞東播支社長
生活環境	角野幸博	武庫川女子大学教授
地域文化	玉岡かおる	作家/兵庫芸術文化懇話会委員
景観形成	中瀬勲	県立人と自然の博物館副館長
地域開発	根本敏行	兵庫大学教授

#### b) 目的

いなみ野ため池ミュージアム推進基本計画（案）に基づき、ミュージアムの創設に向けた諸事業を先導的に展開すること

#### c) 活動

推進委員会では、目的を達成するため、次のような活動が行われてきました。

- ① ため池協議会及びその設立準備中のグループへの指導を行う「客員キュレーター」（大学教授、準教授等）の選任
- ② 水辺に関わる実践グループへの指導を行う「ミュージアム・インストラクター」の選任
- ③ 個々のため池協議会などのため池の魅力・イメージアップを図る「ため池の新たな顔づくり事業」や、ため池等を舞台とするイベント「プロモーション・イベント」の応募企画の審査

#### (4) ため池協議会

ため池を維持・管理する「ため池管理者」は、ため池の保全に関する条例第4条に記されています。「かんがいの利益を受ける農地の所有者及び耕作者」です。

しかし近年、農業者の高齢化や減反政策の影響もあり、従来通りの維持・管理は困難な状況となってきています。このため、農業者だけでなく地域全体でため池の「保全」「活用」「次代への継承」を行う活動組織として、「ため池協議会」が設立されました。

ため池協議会は、条例に定められたため池管理者だけでなく、水利組合、地域の自治会、子供会、婦人会、高齢者クラブ、消防団、学識者、地元企業など、地域の状況に応じた多様なメンバーで構成されています。

対象とされる団体数は、「いなみ野」地域に存在する603カ所のため池（ただし2011年4月現在においては594カ所）を管理するおよそ180協議会です。そのうち想定される協議会数は、「いなみ野ため池ミュージアム推進委員会（第二回）」において2006年度末をめどに60協議会程度が見込まれていました。2002年度では5協議会が設立され、2012年3月時点では58協議会が設立されています。

また個々のため池協議会をネットワーク化するための、情報交換や行政機関との連携の円滑化を目的として、2004年に稻美町ため池協議会連絡会、2005年に明石市ため池協議会連絡会、加古川市ため池協議会連絡会、高砂市ため池協議会連絡会、播磨町ため池協議会連絡会と、各市町に「ため池協議会連絡会」が順次設立されました。それぞれの市町に設立された連絡会を統合するため、2005年11月、東播磨地域全体のネットワーク組織「東播磨ため池協議会連絡会」が設立されました。

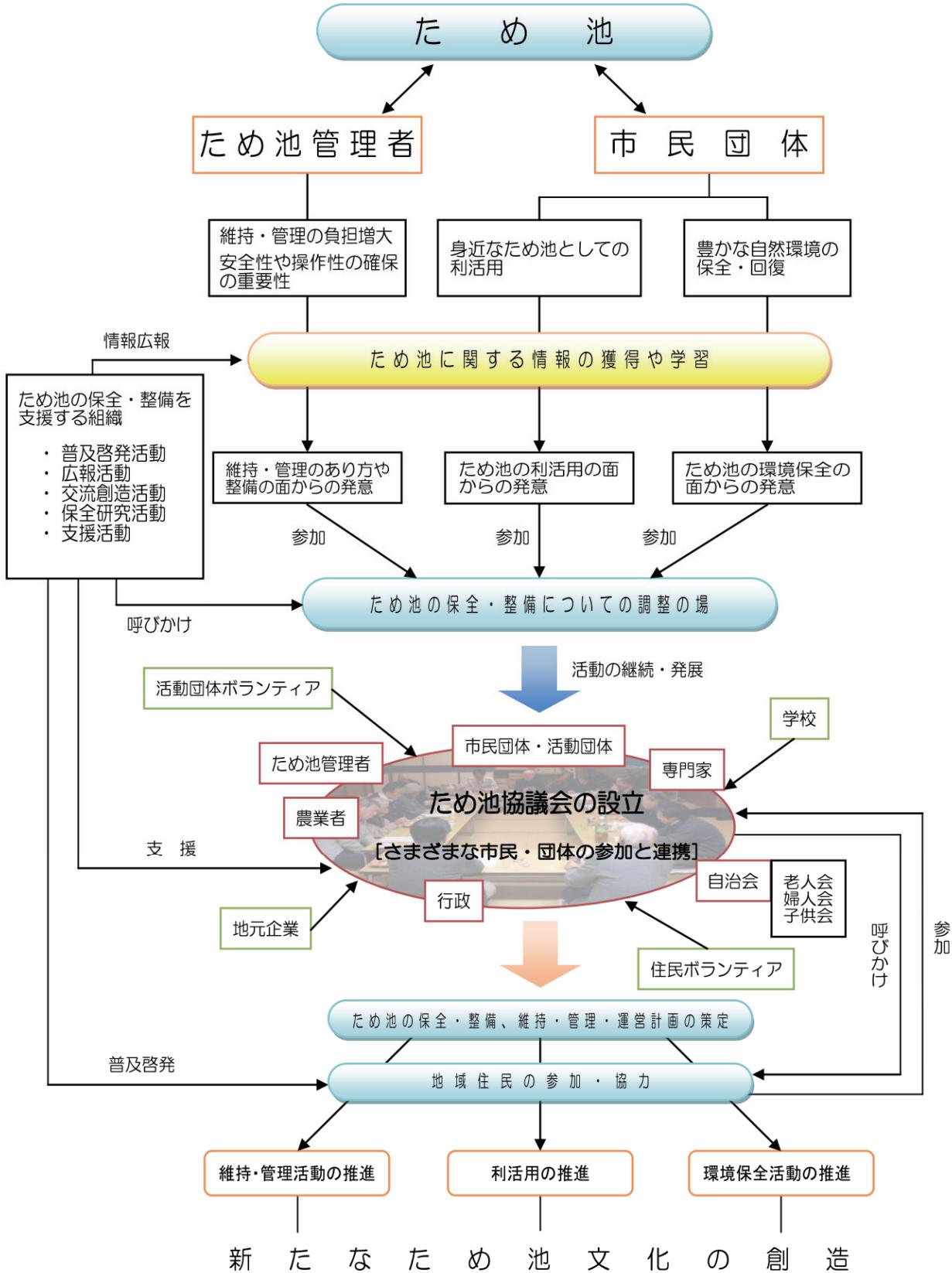
ため池協議会のワークショップ



東播磨ため池協議会連絡会設立総会



「ため池協議会」の設立・活動のイメージ



出典：兵庫県ため池整備構想

### a) 目的

ため池協議会の主な活動目的は次の 2 点です。

- ① ため池の保全及び管理、運営計画の策定などを行い、その利活用を活発にする
- ② ため池を通じて地域内外の人々との交流や協働を拡大していく

### b) 活動

代表的な活動内容は、次の 3 点です。

- ① いなみ野ため池ミュージアムの普及啓発活動
- ② 個別のため池の維持・管理・利活用に関わる計画の策定と実践活動
- ③ その他に情報誌の発行、視察の受入、ため池を利用したイベントの開催、ため池管理者以外の者を取りこんだ維持管理活動の展開等

ため池協議会の活動の指針は、地域の合意を得て作成されています。その一例を紹介します。

# 寺田池でらだいせきうわくうわく議論会

「寺田池協議会」は次の町内会・農会・水利組合を会員とする、平成15年9月に設立した規約に基づいた組織です。

会員	新在家町内会	新在家財産管理委員会	新在家製糖会議第2期第3条
	野沢町内会	寺町内会	
	北芦町内会	高下町内会	
	岸の下町内会	船越地区シン西自治会	
	野口山町内会	ながひめ池町内会	
	今寺タウン町内会	つつじ野自治会	
目的	寺田池協議会規約第2条		
		保全・整備の計画策定	利用活用の推進
		管理・運営計画の策定と管理・運営活動の推進	
		環境保全活動の推進	交流活動・啓発活動
		学習・研究	
役割	寺田池協議会規約第3条		
		協議会の各種行事に参加し、マイスタイルに応じて活用し、また水辺環境にふれ、寺田池をまるごと楽しんでください!!	
		利用ルールを守り、協議会でがんばっている清掃活動などを行ない、寺田池の貴重な環境を大切に育みましょう。	

## 寺田池みんなの心得

**洪水吐(こうすいと)**  
■余分な水を、ため池地帯から  
■自然に流す場所です。  
■コンクリート製の水路に  
なっています。

**取水施設(とりすせつ)**  
■ため池の水を下流の水田に  
■流す装置です。  
■水門によつて、流す水の量を  
調節できます。



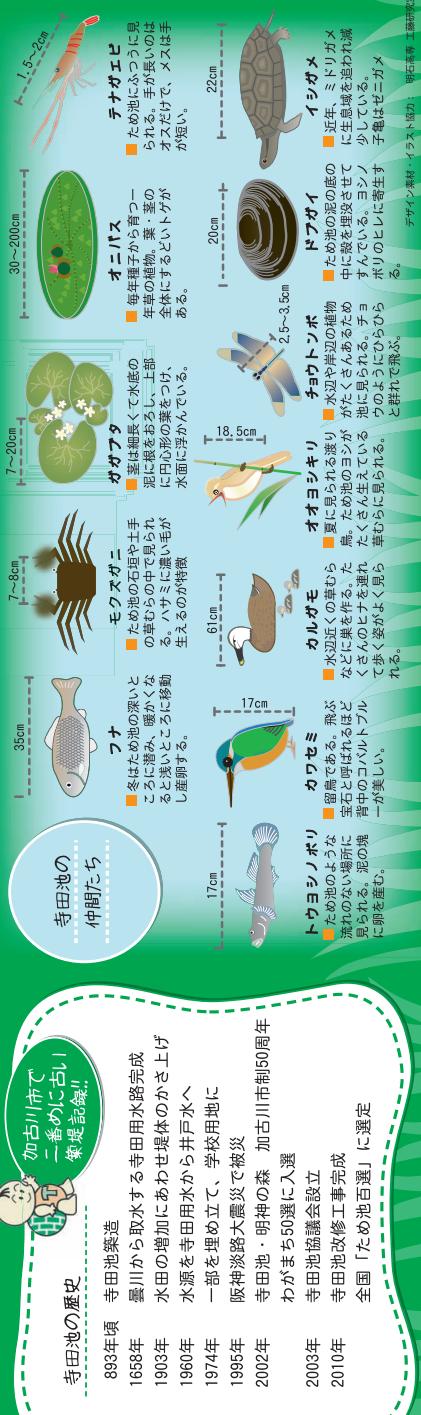
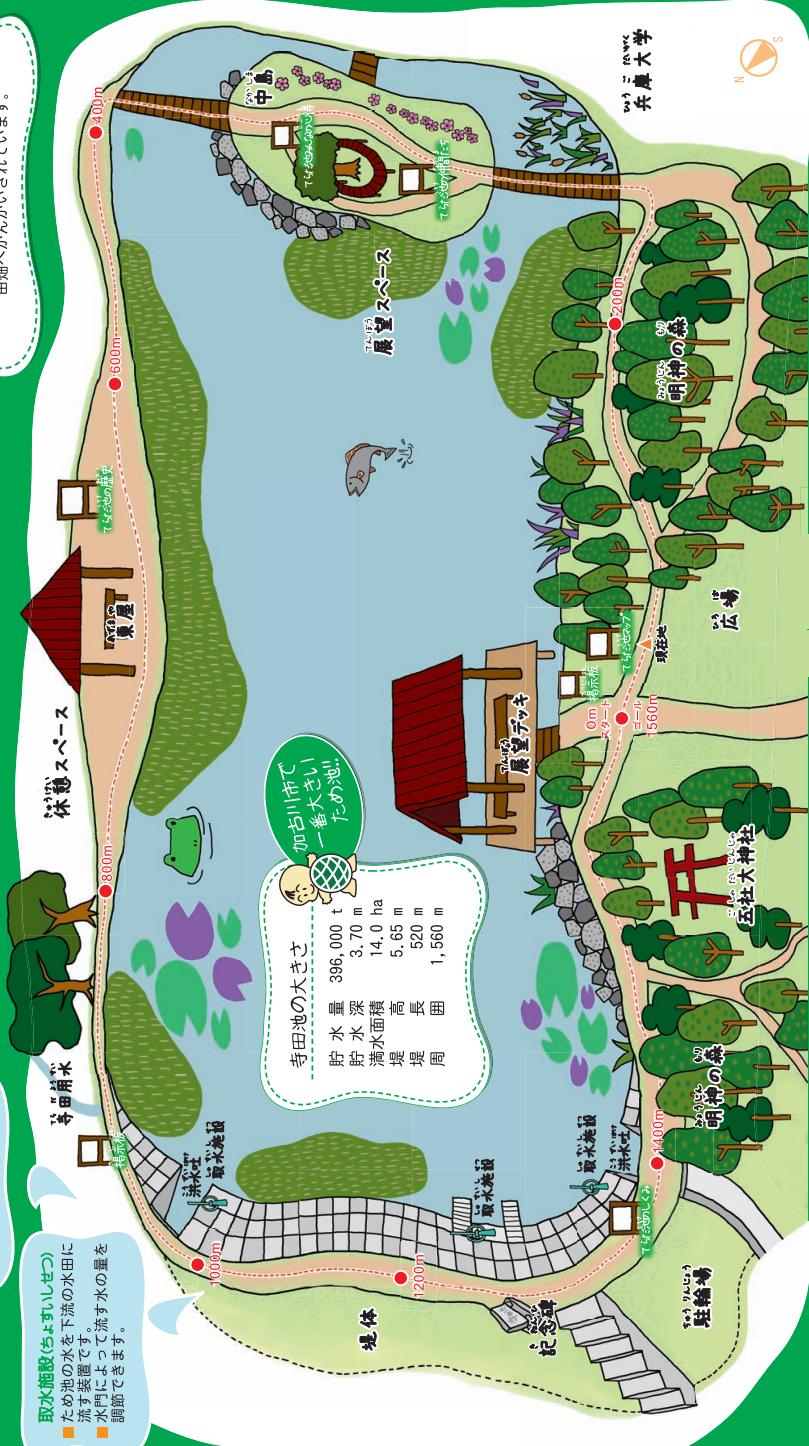
寺田池は先人から受け継ぎ  
次代に伝える、「わたしたちの宝」  
地域のみんなが集い、ふれあう、  
わたしたちの幹

寺田池はわたしたちのため池、わたしたちが育みます。  
わたしたちは生き物すべてがふたりよくすごせる環境を  
つくりります。  
わたしたち一人ひとりは、「みんなが楽しく利用する  
ためのルール」を守ります。

## 寺田池マップ

### 寺田池のつくり

- 寺田池は土を詰め固めた堤体で水を  
せきめて貯水しています。
- 寺田池の貯水は、下流の約10ha の  
田畠へんがいされています。



## 利用ルール



寺田池協議会では、寺田池の利用に関する規則を定めています。  
また、団体等での利用などは、協議会に利用を申請し、了解を得る必要があります。  
その他、施設の更新等に関する提案や利用上の問題点は、各町内会長を通じて、協議会の運営委員会で連絡いたします。

ため池協議会一覧（2011年11月現在）

	名称	対象となるため池（所在地）
明石市	釜谷池協議会	釜谷池・稻葉池・中笠池・岩蛇池(大久保町)
	西島ため池協議会	大池・皿池・新池・上池・納戸池・下切池・切池(大久保町)
	黒星池協議会	黒星池(鳥羽)
	江井ヶ島ため池協議会	皿池・谷池・(大久保町)
	清水ため池協議会	新池・宝恵池(魚住町)
	長坂寺ため池協議会	古前上池・古前中池・竜の池・山の谷池・福池(魚住町)
	柳井ため池協議会	香盤池・西谷池(魚住町)
	清水新田ため池協議会	烏池・東新池・竜ヶ池・新池・小池・明神池・寺山池・大沢池(魚住町)
	松陰新田ため池協議会	鳴池・上池・口無池・下池・寺池・琵琶池・藤治池・砂池(大久保町)
	金ヶ崎ため池協議会	北浦池・亥ノ池・皿池・巳の池・西谷池・新池・亥ノ谷池・大道池(魚住町)
加古川市	松陰ため池協議会	大道池・上川池・下川池・大池・皿池・口無池・屋形池・難波塚池(大久保町)
	福里ため池協議会	稗沢池(二見町)
	峠池を考える会	峠池(野口町)
	寺田池協議会	寺田池(平岡町)
	野田池なかよしの会	野田池(志方町)
	別府皿池の未来を考える会	皿池(別府町)
	野村池友の会	野村池(稻美町加古)
	西牧ため池協議会	兎ヶ池・犬立池・鍋屋池・姥ガ池・藤ノ池・上ノ池・奥ノ池・辻堂池・片山池・鍋屋上池(志方町)
	ながいけの会	長池(上荘町)
	レインボープラン水足ため池に親しむ会	山の神池・狩ヶ池・前の池・山中池(野口町)
八幡町	畠谷池を守る会	畠谷池・上峠の池・下峠の池・奥の池(志方町)
	山中ため池協議会	焼山池・堂ヶ谷新池・牛谷池・牛谷上池(志方町)
	成井ため池協議会	奥の池・小池・山池(志方町)
	ながむろ水辺ミュージアム	ダンベ池・中の池・皿池(志方町)
	白助池協議会	白助池(野口町)
	横大路ため池協議会	皿池・峠の池・中の池・新池(志方町)
	高畠地域づくり協議会	新池・上ノ丸池・下ノ丸池・上ノ沼池・下ノ沼池・丸池・長池・スリバチ池・中の池(志方町)
	神野ため池協議会	布池・皿池(神野町)
	上西条地域環境保全協議会	西田池・猫池・平田池・水持池・東沢池・二号池・上村池(八幡町)
	中西条農・水・環境協議会	猫池・西田池・又池・久保池・中池・芦池(八幡町)
富木地区	富木地区環境保全協議会	幡水池・盆の池(西神吉町)

加古川市	カモメ池協議会	カモメ池(西神吉町)
	宮前・神吉ため池協議会	新池、大池、馬頭池、地知行池(西神吉町)
	天下原ため池協議会	ウェルネスパーク水辺の生き物池(東神吉町)
	新井用水に親しむ会	新井用水(加古川市→播磨町)
高砂市	堂池ため池協議会	堂池(北浜町)
	阿弥陀新池ため池協議会	阿弥陀新池(阿弥陀町)
	魚橋鴻ノ池ため池協議会	鴻ノ池(阿弥陀町)
	長尾ため池協議会	私池・惣毛池・大池(阿弥陀町)
	北脇地区ため池協議会	新池・砂池・寺下池・大谷池(北浜町)
稲美町	内ヶ池ため池協議会	内ヶ池(岡)
	和田新池公園協議会	和田新池(和田)
	梶ヶ池ため池協議会	梶ヶ池(森安)
	おにおいてため池協議会	辰巳池・穴沢池・中池(野寺)
	竜ヶ池につどう会	竜ヶ池(中村)
	琴池を愛する会	琴池・琴池新池(国安)
	加古の池を愛する会	加古大池・茨池・茨新池・六軒屋池・八軒屋池・三軒屋池・見谷上池+見谷下新池・大沢新池・青野池・東池・竹谷池(加古)
	播州葡萄の里ため池協議会	葡萄園池(印南)
	印西地区ため池協議会	宮池・南場池・四ツ塚池(印西)
	千波池ため池協議会	千波池(国岡)
	蛸草地区ため池協議会	広谷池・広沢池(蛸草)
	掌中橋保全協議会	掌中橋(印南)
	天満大池ため池協議会	天満大池(六分一)
	入ヶ池郷ため池を愛する協議会	入ヶ池・満溜池・長府池・後池(北山)・天井池(加古)
播磨町	かがやきの北池コミュニティ	北池(二子)
	大中狐狸ヶ池の会・三処来会	狐狸ヶ池(大中)
	妹池コミュニティ	妹池(古田)
	新井大池ため池協議会	大池(古宮)

## (5) いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

2002年から始まった「いなみ野ため池ミュージアム」は、“ため池協議会”や趣旨に賛同する個人、実践活動団体、大学等の研究者、企業、行政など様々な主体によりその推進が支えられてきました。これにより「ため池群や水路網」の価値や役割についての理解が進み、それらを保全・活用・次代へ継承する取り組みも重ねられてきました。その集大成として「いなみ野ため池博覧会」が2005年に開催されました。

これまでの取り組みをより一層推進していくためには、多様な主体が持つ知識や技術、情報などの資源をより効果的に結びつけ、相互に協力・連携する仕組み（体制、組織）が必要となります。

その体制として2007年3月、ため池協議会、関係団体及び行政からなる「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」が発足します。

### a) 目的・組織

「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」規約の第2条に記されている目的は次の4点です。

- ① 「ため池群や水路網」に象徴される水辺空間の保全、活用、次代への継承
- ② 必要な諸活動の展開について多様な主体の参画と協議の場の設置
- ③ 東播磨の魅力づくりを持続的に展開する場の構築
- ④ 新しい地域づくりへの寄与

またこれらの目的を達成するために、主に以下に掲げる事業を行うこととしました。

- ① 水辺空間の保全・再生活動の展開
- ② 水辺空間を活かした地域づくりを進める人材の発掘と養成
- ③ 安全・安心の水辺空間作りの調査・研究
- ④ 『いなみ野ため池ミュージアム』の普及啓発

## いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の構成（2011年度現在）

### (1) 会員

釜谷池協議会	
西島ため池協議会	
黒星池協議会	
江井ヶ島ため池協議会	
清水ため池協議会	
長坂寺ため池協議会	
柳井ため池協議会	
清水新田ため池協議会	
松陰新田ため池協議会	
金ヶ崎ため池協議会	
松陰ため池協議会	
福里ため池協議会	
峠池を考える会	
寺田池協議会	
野田池なかよしの会	
別府皿池の未来を考える会	
野村池友の会	
西牧ため池協議会	
ながいけの会	
レインボープラン水足ため池に親しむ会	
畑谷池を守る会	
山中ため池協議会	
成井ため池協議会	
ながむろ水辺ミュージアム	
白助池協議会	
横大路ため池協議会	
高畠地域づくり協議会	
神野ため池協議会	
上西条地域環境保全協議会	
中西条農・水・環境協議会	
富木地区環境保全協議会	
カモメ池協議会	
宮前・神吉ため池協議会	
天下原ため池協議会	
新井用水に親しむ会	

堂池ため池協議会	
阿弥陀新池ため池協議会	
魚橋鴻ノ池ため池協議会	
長尾ため池協議会	
北脇地区ため池協議会	
内ヶ池ため池協議会	
和田新池公園協議会	
梶ヶ池ため池協議会	
おにおいため池協議会	
竜ヶ池につどう会	
琴池を愛する会	
加古の池を愛する会	
播州葡萄の里ため池協議会	
印西地区ため池協議会	
千波池ため池協議会	
蛸草地区ため池協議会	
掌中橋保全協議会	
天満大池ため池協議会	
入ヶ池郷ため池を愛する協議会	
かがやきの北池コミュニティ	
大中狐狸ヶ池の会・三処来会	
妹池コミュニティ	
新井大池ため池協議会	
神戸新聞社	
ラジオ関西	
兵庫県南農業協同組合	
あかし農業協同組合	
加古川市南農業協同組合	
兵庫県土地改良事業団体連合会	
兵庫大学・ため池研究所	
兵庫・水辺ネットワーク	
播磨ウエットランドリサーチ	
兵庫地理学協会	
NPO 地域再生研究センター	
21世紀研究所	
いなみ野パールプロジェクト推進実行委員会	
水辺に学ぶプロジェクト	
兵庫県淡河川山田川土地改良区	

東播用水土地改良区	
明石溜池研究会	
神戸市須磨海浜水族園	
和亀保護の会	
エコウイングあかし 自然グループ	
兵庫県(東播磨県民局・北播磨県民局)	
明石市	
加古川市	
高砂市	
稻美町	
播磨町	

## (2) 役員

役職	会員名	代表者の職名
会長	いなみ野パールプロジェクト推進実行委員会	会長
副会長	加古川市ため池協議会連絡会（峠池を考える会）	会長
	明石市	市長
	兵庫大学・ため池研究所	代表
運営委員	明石市ため池協議会連絡会（江井ヶ島ため池協議会）	会長
	加古川市ため池協議会連絡会（峠池を考える会）	会長
	高砂市ため池協議会連絡会（堂池ため池協議会）	会長
	稻美町ため池協議会連絡会（竜ヶ池につどう会）	会長
	播磨町ため池協議会連絡会（かがやきの北池コミュニティ）	会長
	いなみ野パールプロジェクト推進実行委員会	会長
	兵庫大学・ため池研究所	代表
	兵庫県土地改良事業団体連合会	常務理事
	兵庫南農業協同組合	代表理事組合長
	兵庫県	東播磨県民局長
	明石市	市長
	加古川市	市長
	高砂市	市長
監事	稻美町	町長
	播磨町	町長
監事	神戸新聞	東播支社長
	ラジオ関西	姫路支社長

b) 活動

運営協議会が重点とする取り組みは次の通りです。

① 基幹プロジェクトの推進

地区毎に地形・歴史・文化などで特徴づけられるテーマを設け、展示資源の抽出・ネットワーク化し地域全体を博物館として演出します。「いなみ野パールプロジェクト」に象徴される「水辺環境の保全・再生プログラム」を推進すること

② 『いなみ野ため池ミュージアム運営協議会』体制及び活動基盤の強化

「人材養成事業」、「安全・安心のため池管理支援事業」、「普及啓発事業」など『運営協議会』の体制と活動基盤を確立させること